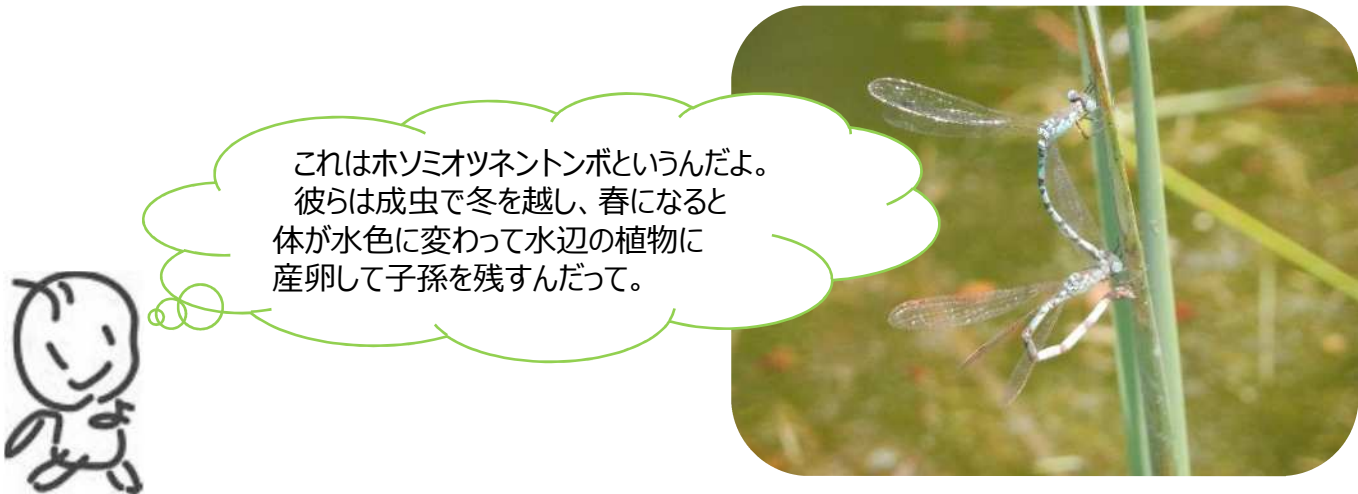




ムーアカデミー通信

Aichi Kaisho Forest Center News Letter vol.51 Spring 2022



これはホソオツネトンボというんだよ。
彼らは成虫で冬を越し、春になると
体が水色に変わって水辺の植物に
産卵して子孫を残すんだって。

今号のトピックス

- ・この人 あいちコウモリ調査隊 立脇 隆文さん……………(2P)
- ・海上の森はいま 海上の森 調査報告 第11号 発行！……………(3P)

情報ライブラリーの新着図書を紹介します



森の根の生態学
平野恭弘・野口享太郎
大橋瑞江(編) / 共立出版

編者の一人の平野氏は海上の森を研究フィールドとしています。

私たちの生活は森林がもたらす様々な生態系サービスによって成立しています。これらの恩恵は、普段目に見ることができない地下の世界で、樹木が根を土壌に張り巡らしもう一つの生態系を作りだすことに依っています。すなわち、根が森林を支えていることを解説しています。



自然(じねん)の哲学
高野雅夫 著 / ヘウレカ

著者は海上の森アカデミー里山暮らしコースの講師を務めています。

人生の評価基準が単一になりがちな現在、多くの人々が「生きづらさ」を感じているのではないかと疑問から始まり、田舎に暮らすことの意味が掘り下げられ、人や自然とつながって生態系の一員として暮らしていくことが「生きる」ことではないかと問題提起しています。

この人「コウモリの秘密を探る！」 立脇 隆文さん

海上の森には、こうもり穴と呼ばれる洞窟があるのをご存じでしょうか。林道から外れた森の中にあるので、知っているの方が珍しいかもしれません。こうもり穴は、花崗岩中に結晶した珪石を採取した跡の人工洞で、入口は高さ1m、幅90cmほどで、内部には、かがめば通れるくらいの高さの通路といくつかの小部屋があります。ヘルメットをして中に入ると、やや湿った感じで、暑い時期なんかはひんやり涼しく感じます。こうもり穴と呼ばれているだけあって、この洞窟にはコウモリの仲間がすんでいます。よく見かけるのは、しわくちゃな顔をしたコキクガシラコウモリとキクガシラコウモリです。昼間に洞窟に入ると天井にぶら下がっている姿を見ることができます。冬眠していない時期には、近づくたびに起きて飛んでいってしまいますが、狭い洞窟内でも壁や私たちにぶつかることもなくすいすいと飛んでいきます。

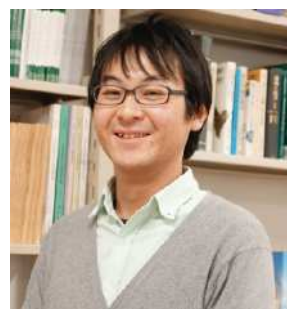
私の所属するあいちコウモリ調査隊では、特別な許可を取って、こうもり穴の中にあるコウモリを月に1回程度捕獲し、標識を付けています。標識を付けたら、個体識別ができるので、何個体くらいがこうもり穴を利用しているのかを知ることができます。また、何回か同じ個体を捕まえることができれば、どのくらいの頻度でこうもり穴を利用しているのかといったことや、何年くらい生きていたのかといったこともわかってきます。もし海上の森で標識した個体を別の場所で捕まえることができた場合には、その個体のねぐらの広がりや移動距離なんかもわかるようになります。こうしたことを目指して、あいちコウモリ調査隊では、コウモリたちへの標識の装着を進めています。

あいちコウモリ調査隊の活動は、実際に洞窟に入ってコウモリ類を観察しながら調査するため、宝探しの探検をしている感覚に近いです。私自身、調査隊の活動に参加するまで、コウモリ類を調べたことがなかったので、初めて活動に参加させてもらった時には「洞窟の中って息はできるのだろうか。生きて帰ってこれるのか・・・」とドキドキしながら調査に参加し、初めて本物のコウモリを間近に見たときの感動を覚えています。隊員の中には全国を回りなが

らコウモリ調査をしている専門家もいるため、参加するたびにコウモリの知識がどんどん増えていきます。日本には約35のコウモリがいて、あの小さい体で10年以上も生きるものもいるなんてびっくりです。

あいちコウモリ調査隊では、海上の森での捕獲調査に加え、昨年度より、最新の超音波録音機を使った愛知県全域のコウモリの生息状況調査も進めています。コウモリの出す超音波を録音し、その波形を確認しながら、どんなコウモリがいるのかを推測しています。昨年度の調査結果からは、よく家に住み着くアブラコウモリしかいないと思われていた場所で、別のコウモリの声が得られるなど、新たな発見がたくさん出てきています。また、餌を食べるときに発する「バズ」や、コウモリ同士のコミュニケーションを行うときに発すると考えられている「ソーシャルコール」も得られており、今後、コウモリの社会がどうなっているのかを調べるきっかけになりそうです。

海上の森は、私にとってコウモリ調査への道を開いてくれた大事な場所です。これからも、調査隊の一人として、海上の森のこうもり穴での捕獲調査や、愛知県内の音声録音調査を進め、超音波を使って世界を見ている変わった動物を少しずつ調べていければと思います。そして、ドローンが飛び交う世界になっても、コウモリたちが変わらずに生活していけるような未来のあり方を創造していきたいと思います。



<プロフィール>

横浜市生まれ。幼少期を動物園通いや虫捕りで過ごす。2018年にあいちコウモリ調査隊に参加したのをきっかけに海上の森でコウモリやハクビシンなどの生態について調査研究。人間環境大学環境科学部フィールド生態学科准教授、あいちコウモリ調査隊代表。

海上の森 調査報告第11号 発行！

報告書から見える森のすがた



海上の森調査報告第11号を発行しました。令和3年次の動植物の記録をとりまとめています。詳細は調査報告をご覧ください。興味深い調査結果を紹介します。

①森林について

今回、尾根部せき悪樹林を調査しましたが、平成20・25年度と比較すると、アカマツ等の先駆樹種が減少し、コナラやリョウブ、ソゴ等の落葉、常緑広葉樹の増加がみられ、遷移が進行していると考えられました。

②猛禽類について

オオタカやノスリを始め11種類が観察されました。特に10月下旬以降、森の中よりセンター周辺での観察例が多いという興味深い結果が得られています。

③哺乳類について

海上の森に生息する哺乳類は、イノシシ、ニホンジカ、ニホンカモシカが多いのですが、この3種の自動撮影カメラにおける撮影頻度を令和2年次と比較すると、それぞれ1.8倍、5.7倍、3.6倍に急増しており、とりわけニホンジカの増加が目立ちました。理由は明らかではありませんが分布が山から里へ拡大している可能性が考えられます。

毎号掲載している調査に、NPO法人海上の森の会による生物季節調査があります。1年間に観察された動植物が登場順に記録されています。お目当ての動植物の出現時期の目安が付きますので、散策の際の参考にいただければと思います。

また、大学やサポーター等の方から海上の森での興味深い観察結果をご寄稿いただいています。

興味のある方は、あいち海上の森センターにて配布いたしますのでお申し出ください。調査報告書を進呈します。なお、部数に限りがありますので、配布部数に達した段階で配布は、終了とさせていただきます。

センター職員随想リレー 語りべの一言

トンボのオアシス ビオトープ池

センター本館から吉田川を挟んだ東隣りにビオトープ池があります。ここでは厳寒期を除いて、春から初冬まで様々なトンボが見られます。小ぢんまりとした池なのでその姿を目の当たりにできます。4月早々に登場するのがシオヤトンボや成虫で冬を越し鮮やかな青色を纏って産卵に訪れるホソミオツネトンボのカップル。5月に入ると翅の前縁に黒点があるやや太めのヨツボシトンボ。下旬からはヤンマがやってきます。最初に腹部の鮮やかな青斑が目立つクロスジギンヤンマ。次はお馴染みのギンヤンマ。池の上を悠然とパトロールです。盛夏になるとひらひらと優雅に舞うチョウトンボが現れ、1年で最も賑やかな時を

迎えます。お盆を過ぎた辺りからは色付き始めた赤トンボ達の競演。その赤トンボの仲間で最後に姿を現すのがキトンボ。名前通り翅も含めて全身が橙色の綺麗なトンボで12月中旬まで元気な姿を見せてくれます。しかし、寒さが日ごとに募り年の瀬が迫る頃には忽然と消え去ってしまっています。そして池には静寂が訪れ本格的な冬の到来です。

今年は、森の散策のついでにちょっと足を伸ばしてこのビオトープ池を覗いてみては如何でしょうか。ただし、一つだけお願いがあります。池への出入口はイノシシの侵入防止柵を兼ねていますので、出入りの際は必ず閉めてくださいね！！

(H.N)

参加者募集 令和4年度 海上の森体験学習プログラム

「グリーンウッドワーク講座海上の森」は新メニュー！！

生木を使って小物やイスをつくります。

◆里と森の教室

●申込先：NPO法人 海上の森の会

●申込先URL：<http://kaishonomori.com/>



開催日時		内 容	募集定員	参加費
①	5月22日(日) 9:30~14:30	説明会・さつま芋、里芋の植付	30名 全9回/セット	1,000円/人 傷害保険料 + 食材費
②	5月29日(日) 9:30~14:30	田植え		
③	6月19日(日) 9:30~14:30	田の草取り・じゃが芋収穫		
④	7月10日(日) 9:30~12:30	田畑の草取り		
⑤	9月25日(日) 9:30~14:30	稲刈り・稲架(はぎ)掛け		
⑥	10月2日(日) 9:30~14:30	さつま芋掘り・間伐体験		
⑦	11月6日(日) 9:30~14:30	燻炭づくり・だいこんと里芋掘り・玉ねぎの植付		
⑧	11月20日(日) 9:30~13:30	収穫感謝祭		
⑨	12月4日(日) 9:30~14:30	落葉かき・水路整備・正月準備		

※天候等により作業遅れを補うため自主活動日を設けることがあります。

対象：小学生以上 ※小学生は保護者同伴

◆グリーンウッドワーク講座 海上の森【里山の木でつくる暮らしの道具】

●申込先：グリーンウッドワーク・ラボ

●申込先URL：<https://greenwoodwork-kaisho.jimdosite.com/>



開催日・内容				募集定員 (前後期共通)	
基礎講座	前 期		後 期		大人10名
	4月16日(土)	箸づくり	9月17日(土)	箸づくり	
	6月11日(土)	スプーンづくり (2日間)	10月15日(土)	スプーンづくり (2日間)	
	6月18日(土)		10月22日(土)		
	7月 9日(土)	器づくり (2日間)	11月12日(土)	器づくり (2日間)	
	7月16日(土)		11月19日(土)		
8月20日(土)	削りもの(削り花)	12月17日(土)	削りもの(クリスマスツリー)	10名 (親子で参加も可)	
椅子講座	前 期		後 期		大人10名
	5月4日(水・祝)	スツールづくり (3日間)	1月21日(土)	スツールづくり (3日間)	
	5月5日(木・祝)		1月22日(日)		
	5月14日(土)		1月28日(土)		

※講座時間は10:00~17:00

※参加費等詳しいことはホームページへ(QRコードを読み取ってください)



◆海上の森キッズアカデミー

●申込先：よりあい工房ばんどり

●申込先URL：<https://sites.google.com/view/teambandori>



開催日時	内 容	募集定員	参加費
12月4日(日) 10:00~15:00	インタープリターと一緒に森の楽しさやおもしろさを親子で体験・共有して学ぶ	森のがっこう* (対象:小学生) 10家族 森のようちえん* (対象:4歳以上の園児) 15家族 ※保護者同伴	傷害保険料 50円/人

編集後記

待ち遠しかった春が到来しました。海上の森は花が開き、鳥のさえずり、虫の姿、躍動感で一杯です。今年も森を訪れる方にとって多くのいきものとの出会いがありますことを願っています。

編集・発行 あいち海上の森センター(ムーアカデミー)

発行日 2022年4月27日

〒489-0857 瀬戸市吉野町304-1

TEL: 0561-86-0606 FAX: 0561-85-1841

E-mail: kaisho@pref.aichi.lg.jp

URL: <https://www.pref.aichi.jp/soshiki/kaisho/>



ホームページ